

福島県病害虫防除所より7月20日付けで「令和4年度病害虫防除情報」が発表されました。発病葉や発病果実は、新たな伝染源となるため、感染が拡大しないように見つけしだい早急に除去し、薬剤防除を徹底しましょう。

農業総合センター果樹研究所における7月14日現在の「幸水」の発育予測では、今後の気温が平年並に推移した場合、本年の収穫盛期日は8月26日ごろで平年より3日早いと見込まれています。7月下旬は、果実被害の発生を防止する重要な防除時期となりますので、防除対策を徹底しましょう。

1 ナシ黒星病の発生状況

7月下旬の調査において、新梢葉及び果実での発生ほ場割合は平年並から高い状況でした(図1、2)。

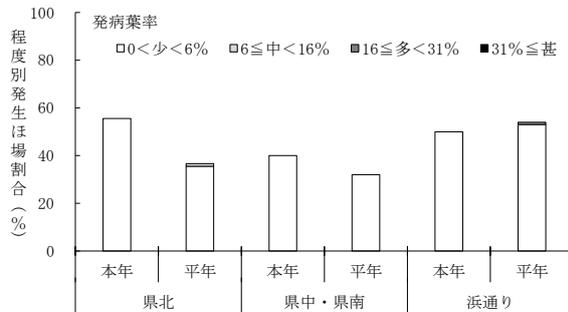


図1 新梢葉での発生状況 (7月下旬)
調査地点: 29園地 平年: 過去10年の平均

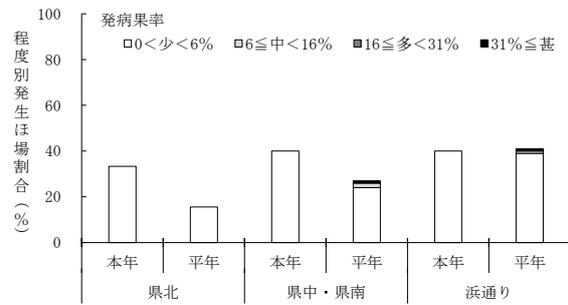


図2 果実での発生状況 (7月下旬)
調査地点: 29園地 平年: 過去10年の平均

2 防除対策

仙台管区気象台発表の東北地方の1か月予報(令和4年7月21日発表)では、今後の平均気温は高く、降水量はおおむね平年並と予想されています。

(1) 耕種的防除

発病葉及び発病果実(図3、4)は、新たな伝染源となるため徹底して除去し、園地内を見回り、園外に持ち出すなど適切に処分しましょう。

(2) 薬剤防除

薬剤の散布は、気象情報に留意して降雨前の予防散布を心がけ、散布間隔があきすぎないように計画的に実施しましょう。

また、薬剤は散布ムラがないように十分な量を使用しましょう。

使用する薬剤は地域の防除暦等を参照し、薬剤の使用濃度、収穫前日数等の農薬使用基準を遵守してください。



図3 ナシ黒星病の発病葉
(写真提供：福島県農業総合センター果樹研究所)



図4 ナシ黒星病の発病果実
(写真提供：福島県病害虫防除所)

発病葉及び発病果実の除去と薬剤散布を徹底し、
感染拡大を防ぎましょう！

病害虫の発生予察情報・防除情報

病害虫防除所のホームページに掲載していますので、参照してください。

<http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/37200b/>

農薬の散布は使用基準を遵守し、散布時の飛散防止に細心の注意を払いましょう。

発行：福島県農林水産部農業振興課 農業革新担当 TEL 024(521)7344

(以下の URL より他の農業技術情報等をご覧ください。)

<http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/36021a/>